

「富士見中学校・吉田中学校」 小規模校対策検討委員会ニュース

第1号 平成23年11月1日

第1回検討委員会 開催

- 日時 平成23年10月12日（水）13時から
- 場所 関内駅前第一ビル 302号会議室

富士見中学校の施設上の問題を踏まえた上で、富士見中学校・吉田中学校の小規模校化の諸問題に関し、その解消及び生徒の教育環境の向上について検討するため、「富士見中学校・吉田中学校」小規模校対策検討委員会を設置します。

第1回検討委員会の主な協議内容

- 1 富士見中学校・吉田中学校の現状について
- 2 「横浜市立小・中学校の通学区制度及び学校規模に関する基本方針」について
- 3 近隣中学校の現状を踏まえた適正規模化方策について
- 4 保護者説明会の概要について

検討委員会では今後、次の事項を検討していきます。

- ①「小規模校対策の方向性」について
 - ②「統合時期」に関する事
 - ③「通学区」に関する事
 - ④「教育内容」に関する事
- (※②～④は学校統合が必要となった場合)



<決定事項・確認事項等>

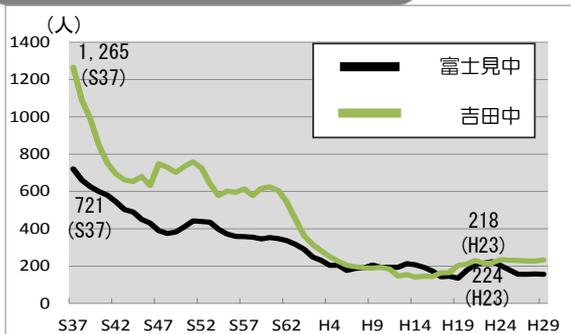
- 委員長、副委員長の選出を行い、検討委員会の運営方法について決定しました。
- 富士見中学校・吉田中学校の現状と課題について共通の認識を持ち、検討委員会として、来年度以降の入学予定者に配慮し、小規模校対策について早急に方向性を決めていくことを確認しました。

1 富士見中学校・吉田中学校の現状

両校の基礎情報

	富士見中学校	吉田中学校
開校年度	昭和37年（49周年）	昭和22年（64周年）
親校	吉田中	—
建築基準年	昭和35年（築51年）	昭和57年（築29年）
小中一貫教育	南吉田小（南区）	本町小
その他	地域防災拠点（地域医療救護拠点） 外国籍・外国につながる生徒が多い	地域防災拠点、コミュニティハウスあり 外国籍・外国につながる生徒が多い

両校の生徒数・学級数の推計値



富士見中	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	普通教室数
生徒数	224	203	180	157	156	158	156	10
学級数	6	6	6	6	6	6	6	
吉田中	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	普通教室数
生徒数	218	235	232	230	228	227	233	7
学級数	6	7	7	7	6	7	8	

(平成23年度は平成23年5月1日現在の実数値。平成24年度以降は、平成23年度義務教育人口推計による推計値。いずれも個別支援学級を除く。)

富士見中学校は平成4年度に、吉田中学校は平成6年度に全校の学級数が6学級となり、以後、生徒数は大きく増加することなく推移しています。今後についても、この傾向は続く見込まれます。

富士見中学校の施設について

○ 仮設校舎について

【設置理由】

既存校舎の耐震強度が低いことは事実であり、万が一に備え、生徒の安全確保のための早い対策が必要と考えたことによります。

【仮設校舎の詳細】

- ・設置場所 : 富士見中学校 校庭
- ・設置時期 : 平成24年3月予定
- ・仕様 : エアコン設置他
- ・耐震性 : 新耐震基準を遵守
- ・規模 : 現在の校舎のうち必要な諸室を整備することを想定

<※仮設校舎の例>



2 横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針（抜粋）

小規模校の問題を解消し、教育環境を改善するとともに、効果的・効率的な学校経営を行うために、地域と十分に調整を図り、保護者・地域住民の理解と協力を得ながら、通学区域の変更等を行い学校規模の適正化を推進する。

また、通学区域の変更・弾力化等が実施できない場合や実施によっても小規模校が解消しない場合については、学校の統合について検討を進めることとする。

◎統合の対象となる地域	
① 小規模校の学校が複数近接する地域	② 小規模校と適正規模校が近接する地域 (ただし、統合校の規模が恒常的に25学級以上(大規模校)となる場合は除く。)
③ 小学校または中学校が小規模校で学校が近接しており、同一敷地内で施設の共用等による小中併設校の設置ができる地域	
④ 小規模化の進行が著しく、教育環境確保のため早急な対応が必要な地域	
※ 準小規模校を含め、将来小規模化が予測される学校も、小規模校と同様に対象とする。	
◎統合の進め方	
保護者・地域住民の理解と協力を得られるよう「小規模校再編検討委員会」(仮称)等を設置し、十分調整をする。	
◎統合によって生み出される旧学校施設の利活用	
統合によって生み出される土地、建物については、地域のニーズにも配慮した幅広い視点から、利活用の検討を行う。	

3 近隣中学校の現状を踏まえた適正規模化方策について

近隣中学校推計

共進中	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	普通教室数
生徒数	477	495	499	484	454	440	434	15
学級数	13	13	13	13	12	12	12	
平楽中	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	普通教室数
生徒数	245	253	237	227	225	220	210	15
学級数	9	8	7	6	6	6	6	
港中	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	普通教室数
生徒数	303	315	306	285	292	308	319	13
学級数	10	10	10	9	9	9	9	

(平成23年度は平成23年5月1日現在の実数値。平成24年度以降は、平成23年度義務教育人口推計による推計値。いずれも個別支援学級を除く。)

富士見中学校・吉田中学校のほか、平楽中学校についても今後生徒数が減少傾向にあり、小規模校化(8学級以下)することが見込まれます。

また、富士見中学校の通学区域内では、中区と南区の行政区境線と通学区域線、小学校と中学校の通学区域線の不一致などが生じており、教育活動だけでなく、地域活動の面などからも支障をきたしている状況にあります。

したがって、富士見中学校・吉田中学校だけでなく、平楽中学校を含め、通学区域の調整等の方策による小規模校の解消を図る必要性も出てきています。

4 保護者説明会の概要について

保護者説明会を次の日程で開催しました。

【第1回保護者説明会】

- 平成23年6月4日(土) 13時00分から 富士見中学校体育館にて 参加者約170名
- 平成23年6月6日(月) 18時00分から 吉田中学校体育館にて 参加者約140名

【第2回保護者説明会】

- 平成23年7月23日(土) 10時00分から 富士見中学校体育館にて 参加者約120名
(※第1回保護者説明会での質疑に答える形で、第2回保護者説明会を開催。)

<保護者説明会での主なご意見・ご質問>

【施設に関すること】

☆なぜ富士見中学校の耐震補強工事ができないのか。

→平成20年度の屋内運動場の大規模改修に伴い、既存校舎のコンクリート強度の調査を実施した結果、コンクリート強度が低いことが判明しました。このため、耐震診断（再診断）を実施し、耐震補強工事による耐震性の向上を検討しましたが、コンクリート強度が低いために耐震補強では必要な耐震性を満たすことができないと判断しました。

☆富士見中学校の耐震性が低いことを、すぐに報告しなかったのはなぜか。

→耐震補強の可能性や校舎改築、学校統合等の様々な検討を重ねていたために、方向性を見出すことに時間を要していたためです。

☆吉田中学校の耐震性は問題ないのか。また、耐震性について今後確認をすることはあるのか。

→吉田中学校は昭和57年に新たな耐震基準に基づき、建設されております。現在の校舎のコンクリート強度については、今後確認する予定です。

【※コンクリート強度については、支障がないことを確認済。

→コンクリート圧縮強度試験結果：21N/mm²（設計基準強度以上）】

【小規模校対策に関すること】

☆小規模校にも良さがあると思うが。

→小規模校には良いところがたくさんありますが、小規模校の抱える課題を解消するためには、適正規模のもとで子どもたちのより良い教育環境を作ることが必要だと考えます。

☆もし統合となるのであれば、両校の抱える課題や問題をしっかり解消してほしい。

→外国籍生徒等への対応など、様々な課題に対して、統合しても教育水準が低下するようなことのないように、検討をしていきたいと考えています。

5 検討委員会での主なご意見・ご質問

- ◇ 小規模校の特徴の説明の中で、「授業内容や児童生徒指導について相談できる機会が減る」とありましたが、これは教職員同士で相談できる機会が減るということでしょうか。
→ 小規模校については、教職員数が少ないために、教職員同士で相談する機会が少なくなるということです。
- ◇ 小規模校であることを悪く思っている人は少ないと思うので、この検討委員会の名前を変えてほしいのですが。
→ 一度こちらに預けさせていただき、検討を進めていく中で新しい検討委員会名を提案していただければと思います。
- ◇ もし両校が統合となり、吉田中学校校舎を使用となった場合、生徒数に対して教室数が不足するのではないのでしょうか。
→ 仮に統合となった場合は、統合後の生徒数を受け入れるために、必要な教室数を確保するための施設改修工事を行う必要があると考えております。
- ◇ この検討委員会は、富士見中学校の建替ができないということを踏まえた上で検討するのでしょうか。
→ 富士見中学校は小規模校対策の対象校であるために、校舎の建替はできないということを踏まえて検討していただければと考えております。
- ◇ 今後の検討委員会の進め方について、現在富士見中学校の通学区域内に在籍している小学校5年生、6年生が来年度以降、進学することを考えると、統合時期などの検討すべき項目の順番なども重要になってくると思うのですが。
→ 来年度富士見中学校へ進学予定の児童には、就学通知が発送される来年1月中旬頃までにはきちんとした説明をする必要があると考えております。そのためにも、このできるだけ早く検討委員会で方向性を決定していただければと考えております。
- ◇ 第2回検討委員会開催までに第1回検討委員会の結果説明会を関係校の保護者を対象に開催してもらいたいのですが。
→ 関係校と日程を調整し、事務局より報告させていただきたいと思います。
- ◇ 両校を選択できる特別調整通学区域が設定されている地域では、12月に希望校調査を行う予定になっているので、その選択に対しての配慮も必要だと思います。
- ◇ 今後の両校について、将来に渡っての子どものために、いつまでもずっと残っていくような内容を皆様と検討していければと思います。

6 検討委員会の運営方法について

検討委員会の開催にあたり、「代理出席」「情報提供」について、次のとおり決定しました。

「代理出席」

代理出席は認めるが、代理出席者は委員の代理として必要な伝達を受けたうえで、委員からの事前の引き継ぎ事項以外の意見具申は控えてもらうこととします。

なお、代理出席者は欠席した委員に、検討委員会の報告と引き継ぎをすることとします。

「情報提供」

検討委員会の議事内容を掲載したニュースを作成し、

- ①関係する地域への全戸配布
- ②関係校の児童・生徒を通じて保護者に配付
- ③教育委員会ホームページへの掲載等により周知を図っていきます。

(※本検討委員会は、情報公開等の趣旨に鑑み、原則公開で行われます。)



7 検討委員会の委員について

検討委員会の委員は次の方々に就任の承諾をしていただきました。また、委員長・副委員長については、協議の結果、次のとおりとなりました。

「富士見中学校・吉田中学校」小規模校対策検討委員会 委員（平成23年10月12日現在、敬称略）

(委員長)	小島 弘之	埋地地区連合町内会会長
(副委員長)	安藤 政彦	寿東部連合町内会会長
	常光 日出男	石川打越地区連合町内会会長
	広瀬 久男	第1北部地区連合町内会会長
(委員)	平山 正晴	第1地区中部連合町内会会長
	平野 朝子	関内地区連合町内会会長
	吉井 肇	中村地区連合町内会会長
	山下 順三	M.M.TOWERS自治会会長
	樋口 敦子	富士見中学校PTA会長
	本田 真理子	富士見中学校PTA副会長
	浅田 栄子	富士見中学校PTA代表
	栗原 明子	吉田中学校PTA会長
	板橋 美智子	吉田中学校PTA副会長
	佐藤 由紀	吉田中学校PTA代表
	石野 貴史	南吉田小学校PTA会長
	小根山 衛志	石川小学校PTA会長
	手塚 厚志	本町小学校PTA会長
	出川 進	富士見中学校校長
	鈴木 満	吉田中学校校長
	藤田 耕平	南吉田小学校校長
	石渡 元	石川小学校校長
	原 忠雄	本町小学校校長

当日の様子



【第2回検討委員会の日程】

★平成23年11月18日(金) 14時00分から 関内駅前第一ビル302号会議室にて

(検討予定内容)

1. 小規模校対策の方向性について
2. その他

※本検討委員会は原則公開で開催しており、傍聴席(定員10人)を用意します。

傍聴の受付は、会場入口で午後1時30分から午後1時50分まで行い、傍聴希望者が定員を超えた場合は、受付締切後に抽選により決定します。



「富士見中学校・吉田中学校」小規模校対策検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はホームページでもご覧になれます。

・基本方針など <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/kyoiku-info/gakku-houshin.html>

・「富士見中学校・吉田中学校」小規模校対策検討委員会

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/shoukibo/naka.html>



「富士見中学校・吉田中学校」小規模校対策検討委員会では、常に皆さまからのご意見を受け付けております。FAXかEメールにて、事務局(学校計画課・教育施設課)までご連絡ください。

*「富士見中学校・吉田中学校」小規模校対策検討委員会事務局
(学校計画課・教育施設課) TEL:045-671-3252 FAX:045-651-1417
Eメール:ky-naka@city.yokohama.jp



発行：「富士見中学校・吉田中学校」小規模校対策検討委員会事務局